2026年9月20日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
9,183万kW
18時、91,828 MW（10エリア同時刻合計）

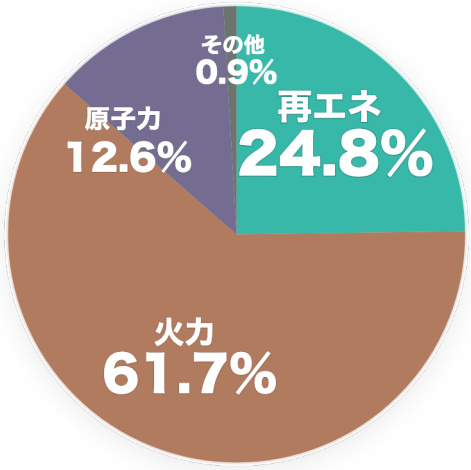
☀ 太陽光ピーク
2,556万kW
12時、25,559 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
139万kW
22時、1,393 MW

◇ 再エネ最大需要比
43.5%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
127 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
105 GWh



概況

再エネ比率トップ

九州 37.4%

88.9 GWh

出力抑制量

4.3 GWh

最大: 中国 2.2 GWh

揚水・蓄電の充電

42.3 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、18:00に2,931万kWでした。
- 再エネ比率は九州が最も高く、発電電力量ベースで37.4%でした。
- 出力抑制は中国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**24.8%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**487 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**1,966 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**43.5%**	12時
出力抑制量	**4.3 GWh**	最大: 中国
揚水・蓄電の充電	**42.3 GWh**	発電構成比には含めない

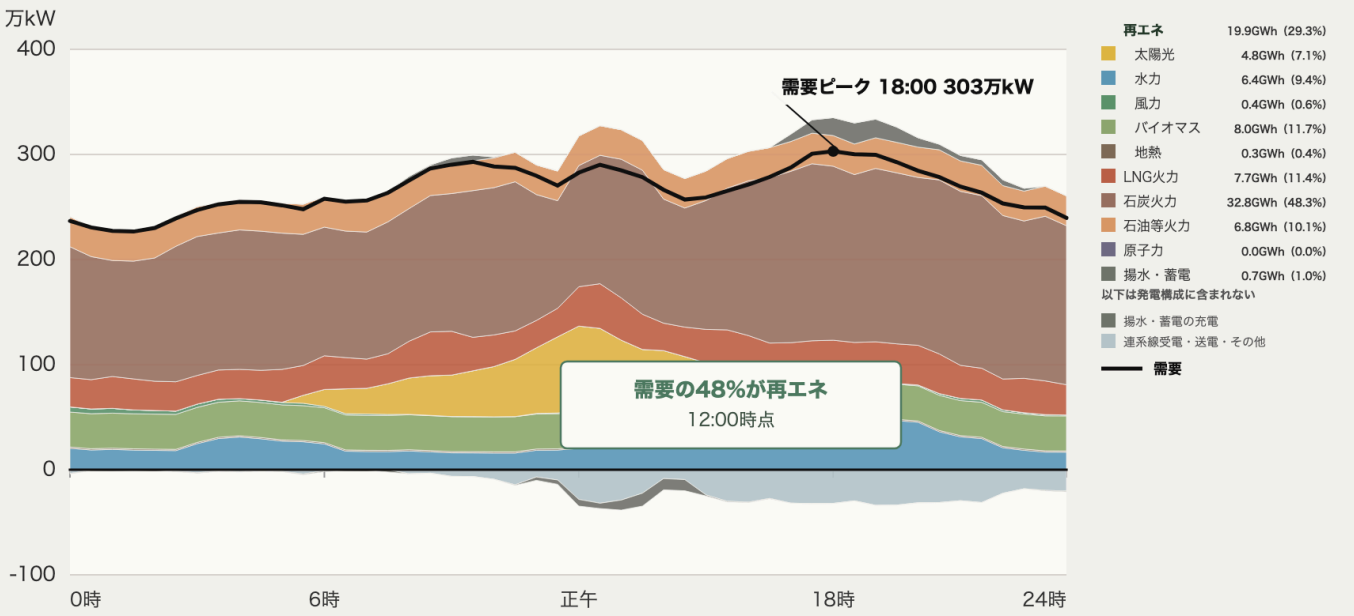
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**29.3%**	**19.9**	**0.0**	**送電 3.6**
東北	**24.7%**	**69.3**	**0.0**	**送電 105**
東京	**13.9%**	**70.2**	**0.0**	**受電 127**
中部	**30.7%**	**78.2**	**0.0**	**受電 35.9**
北陸	**36.8%**	**25.7**	**0.0**	**送電 11.9**
関西	**22.6%**	**64.8**	**0.0**	**受電 39.9**
中国	**26.3%**	**41.1**	**2.2**	**送電 13.5**
四国	**32.9%**	**26.4**	**0.0**	**送電 22.8**
九州	**37.4%**	**88.9**	**2.1**	**送電 23.6**
沖縄	**10.5%**	**2.8**	**0.0**	—

2026年9月20日の供給実績

北海道エリア

再エネ
19.9GWh
（発電電力量ベース29.3%）

北海道エリア 2026年9月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
68.0GWh

需要ピーク
18:00、303万kW

連系線・その他
3.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.4GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

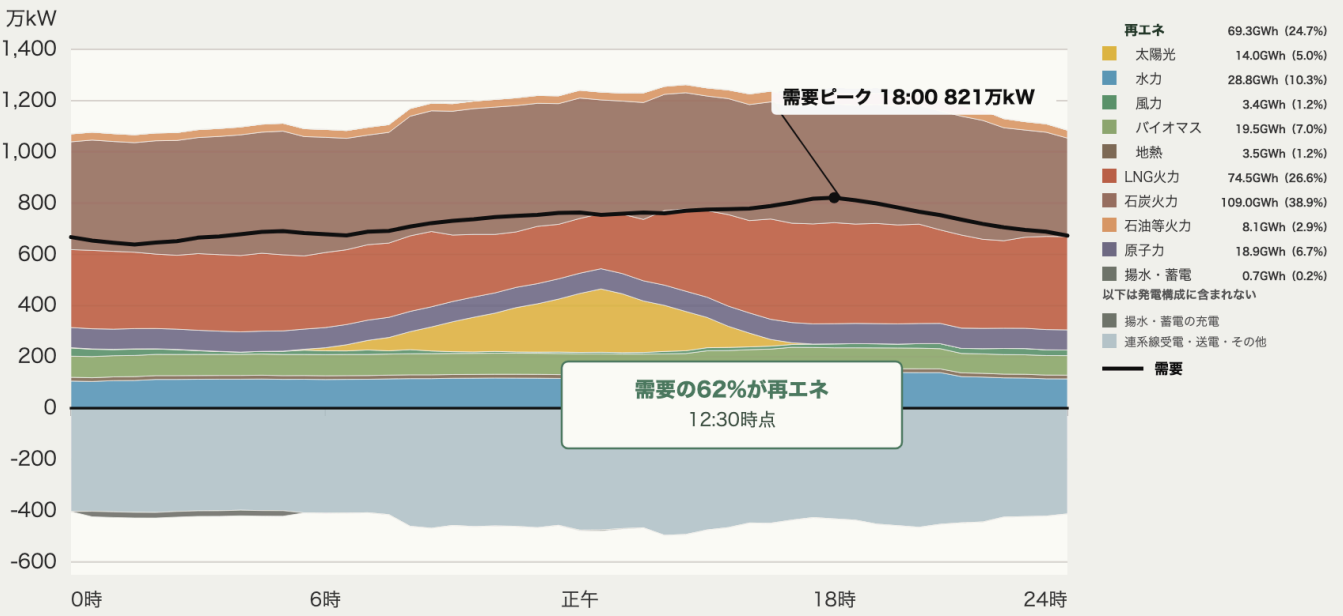
北海道は、太陽光ピーク81万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は48.4%だった。

2026年9月20日の供給実績

東北エリア

再エネ
69.3GWh
（発電電力量ベース24.7%）

東北エリア 2026年9月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
280.5GWh

需要ピーク
18:00、821万kW

連系線・その他
105.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

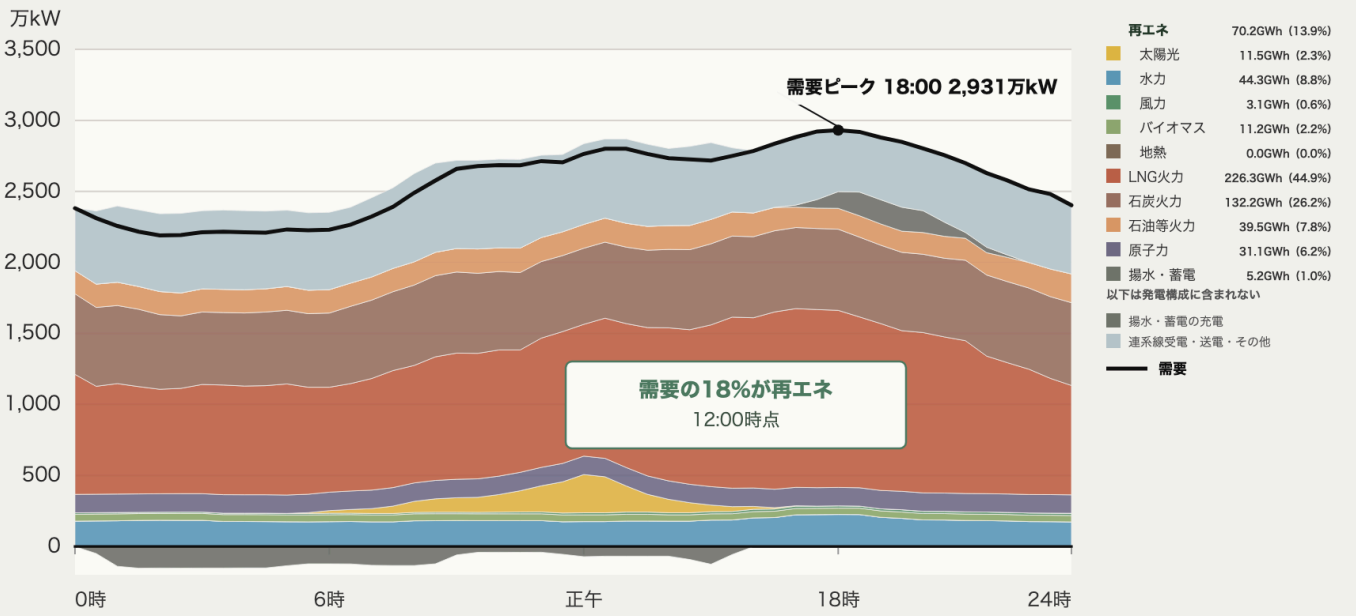
東北は、太陽光ピーク247万kW、風力ピーク32万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.7%だった。

2026年9月20日の供給実績

東京エリア

再エネ
70.2GWh
（発電電力量ベース13.9%）

東京エリア 2026年9月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
504.5GWh

需要ピーク
18:00、2,931万kW

連系線・その他
127.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電
15.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

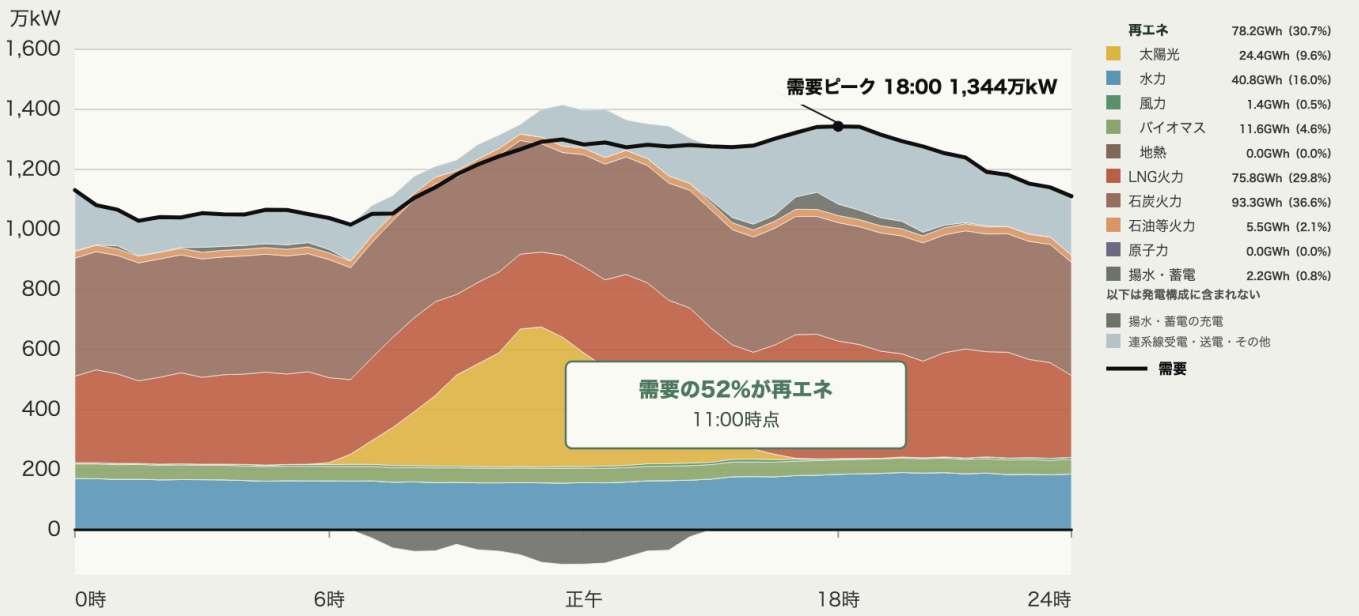
東京は、太陽光ピーク270万kW、風力ピーク16万kWで、時間別の再エネ最大需要比は18.3%だった。

2026年9月20日の供給実績

中部エリア

再エネ
78.2GWh
（発電電力量ベース30.7%）

中部エリア 2026年9月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
254.9GWh

需要ピーク
18:00、1,344万kW

連系線・その他
35.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電
6.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

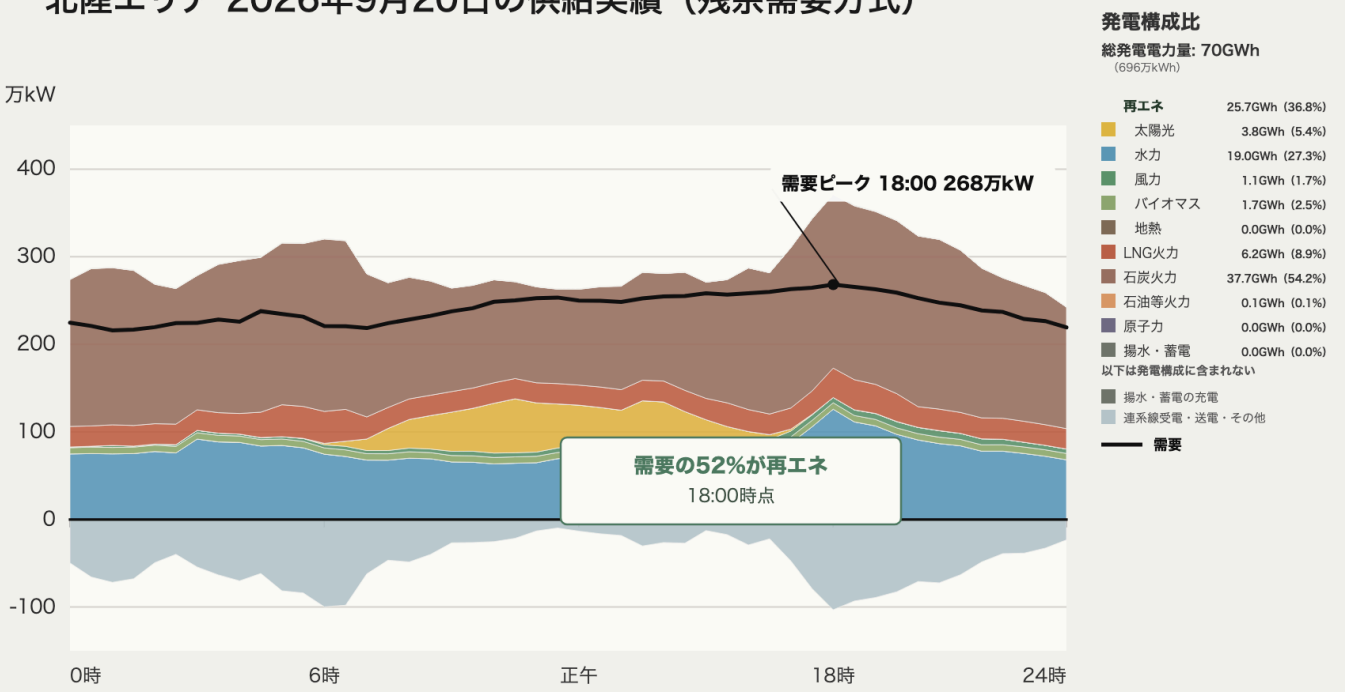
中部は、太陽光ピーク466万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は52.8%だった。

2026年9月20日の供給実績

北陸エリア

再エネ
25.6GWh
（発電電力量ベース36.8%）

北陸エリア 2026年9月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
69.6GWh

需要ピーク
18:00、268万kW

連系線・その他
11.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

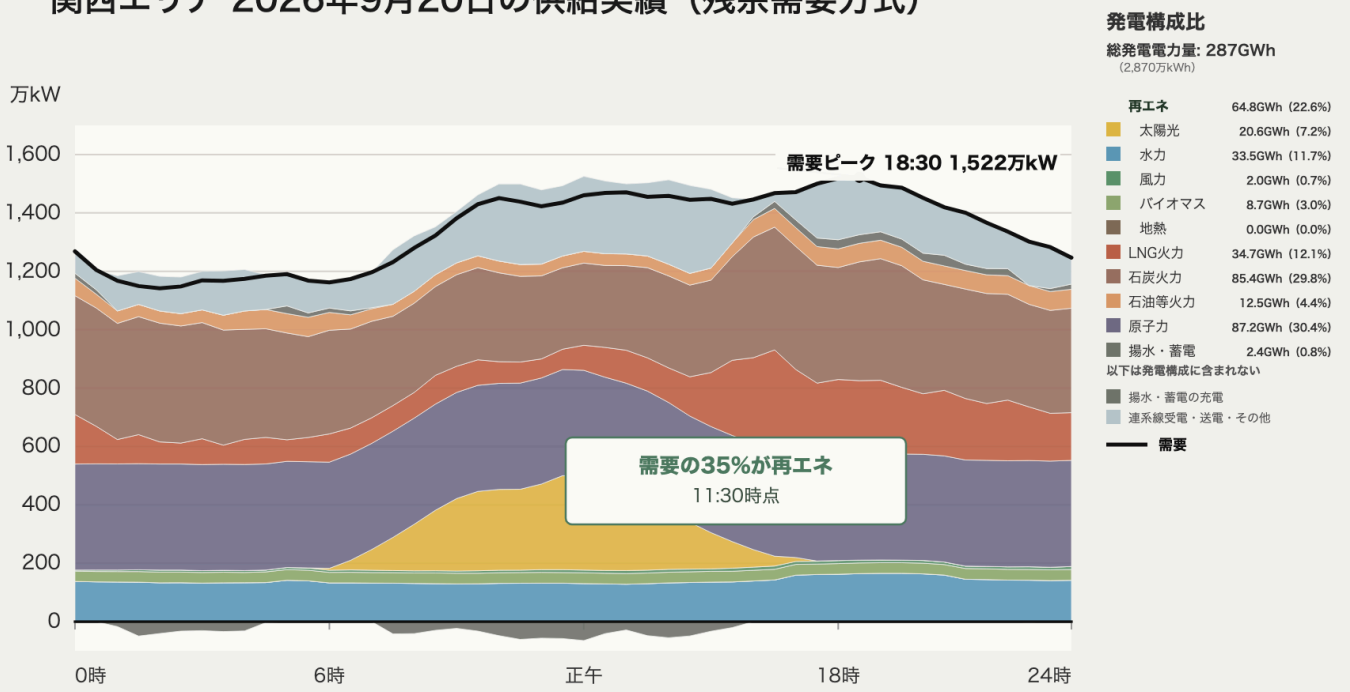
北陸は、太陽光ピーク62万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は55.1%だった。

2026年9月20日の供給実績

関西エリア

再エネ
64.8GWh
（発電電力量ベース22.6%）

関西エリア 2026年9月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
287.0GWh

需要ピーク
18:30、1,522万kW

連系線・その他
39.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電
4.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

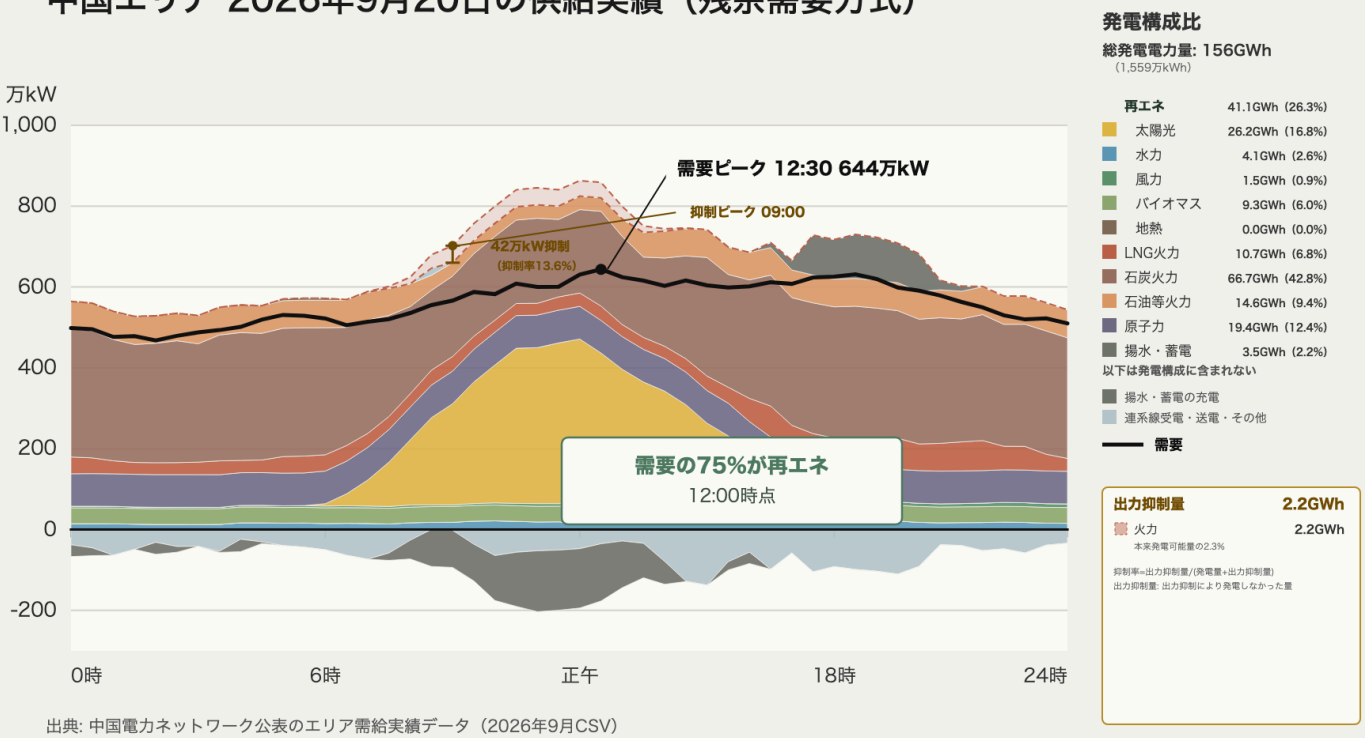
関西は、太陽光ピーク322万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は34.8%だった。

2026年9月20日の供給実績

中国エリア

再エネ
41.1GWh
（発電電力量ベース26.3%）

中国エリア 2026年9月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
155.9GWh

需要ピーク
12:30、644万kW

連系線・その他
13.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
8.0GWh

出力抑制
2.2GWh

概況

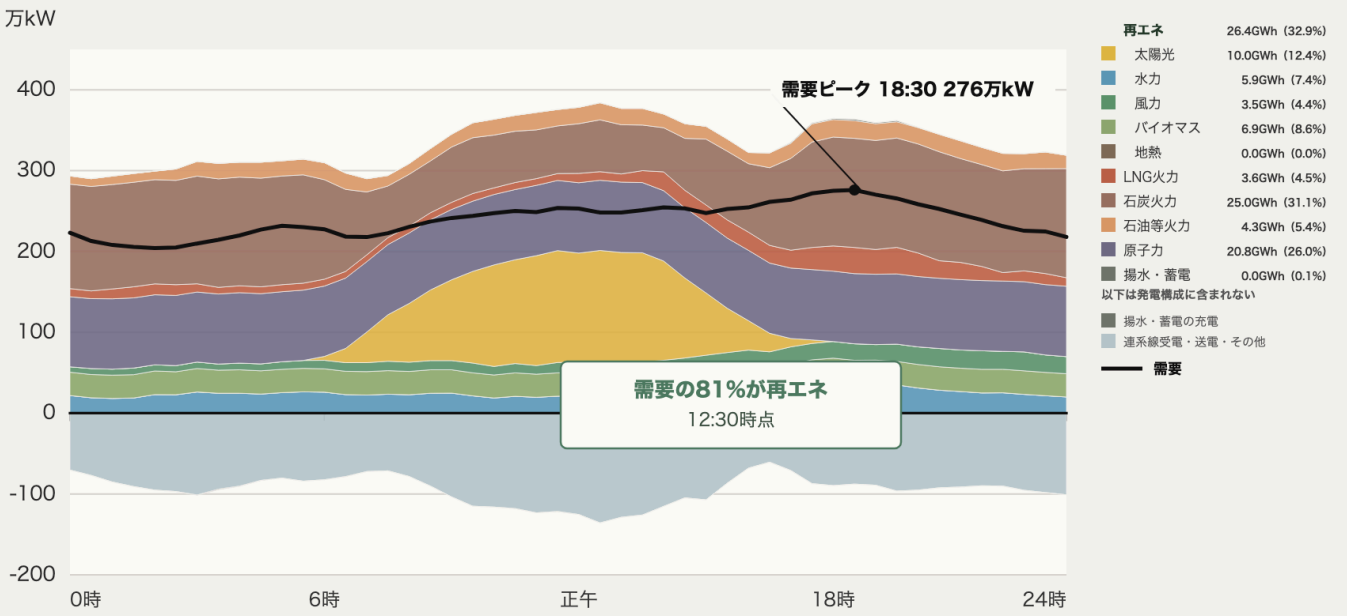
中国は、太陽光ピーク410万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は76.9%だった。

2026年9月20日の供給実績

四国エリア

再エネ
26.4GWh
（発電電力量ベース32.9%）

四国エリア 2026年9月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
80.1GWh

需要ピーク
18:30、276万kW

連系線・その他
22.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

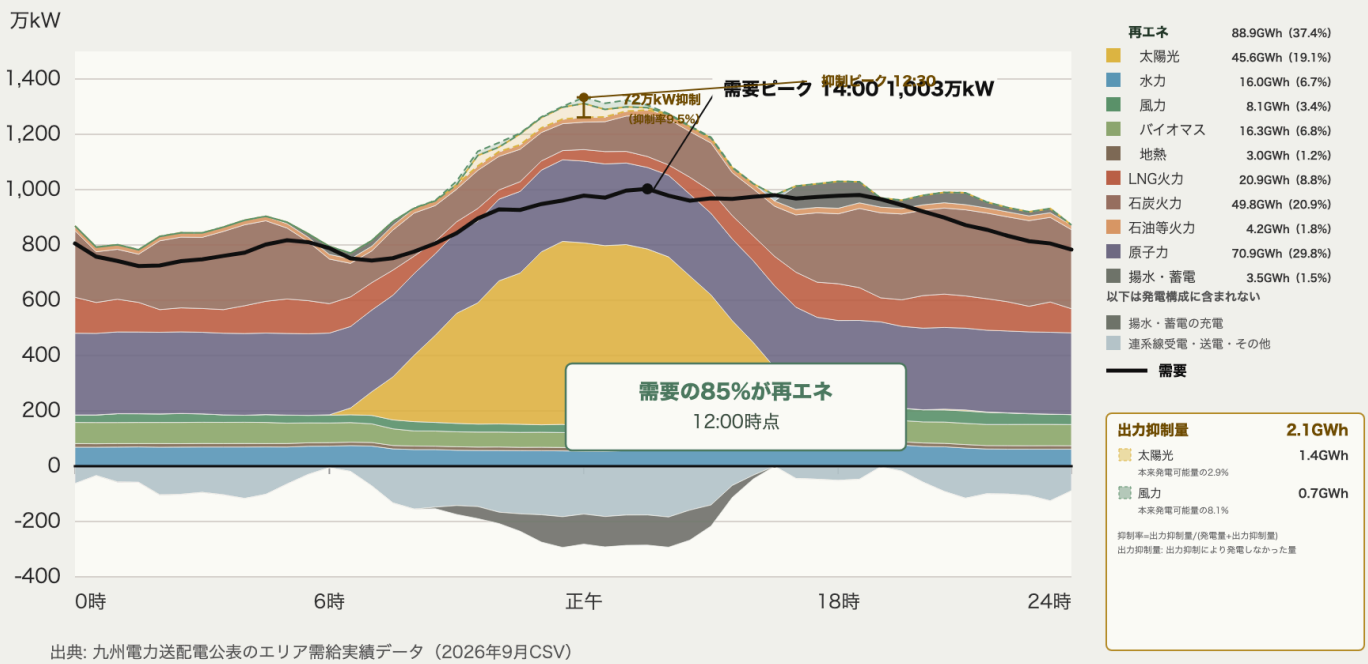
四国は、太陽光ピーク140万kW、風力ピーク23万kWで、時間別の再エネ最大需要比は81.1%だった。

2026年9月20日の供給実績

九州エリア

再エネ
88.9GWh
（発電電力量ベース37.4%）

九州エリア 2026年9月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
238.1GWh

需要ピーク
14:00、1,003万kW

連系線・その他
23.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
5.9GWh

出力抑制
2.1GWh

概況

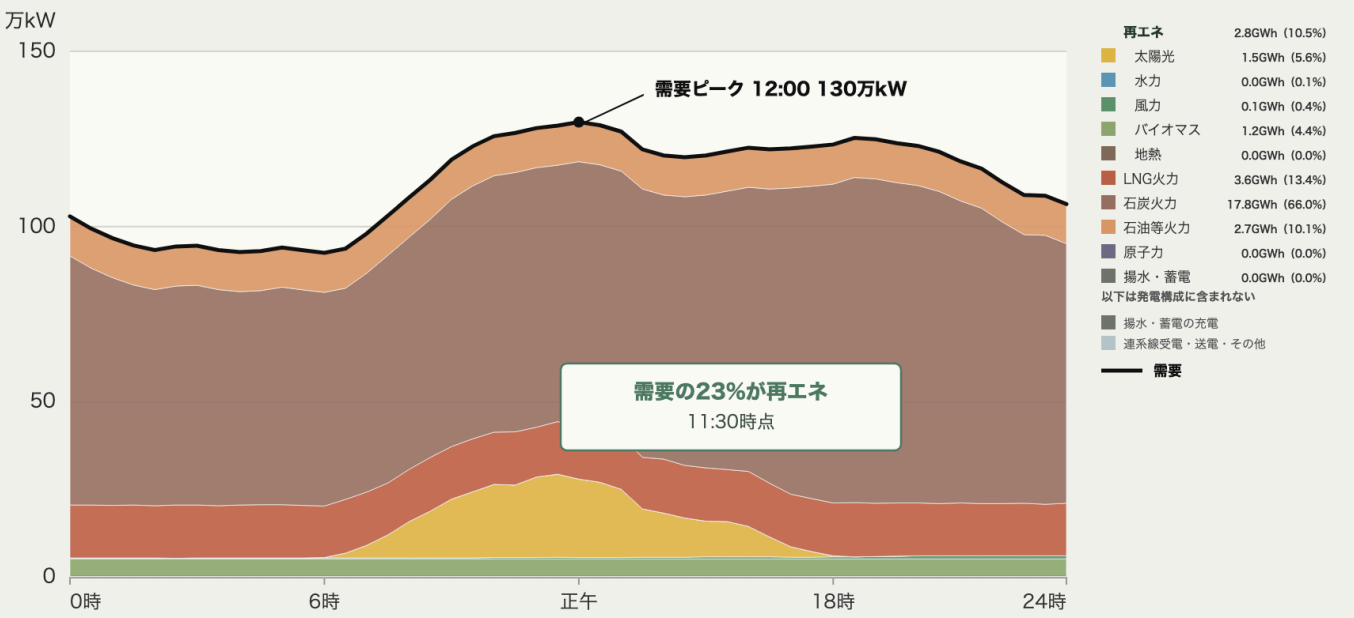
九州は、太陽光ピーク667万kW、風力ピーク45万kWで、時間別の再エネ最大需要比は84.7%だった。

2026年9月20日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.8GWh
（発電電力量ベース10.5%）

沖縄エリア 2026年9月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
27.0GWh

需要ピーク
12:00、130万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク24万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は22.7%だった。